

## 「人を怒らせないために」

(2年 大城 昊己)

みなさんは、ちょっかひを出してしまい、少しケンカっぽくなってしまったり、機嫌を悪くさせてしまったことはありませんか。でも、ちょっかひを出されてもイラッとしないう人もいます。さてこの差は何なのでしょうか。



僕なりにイライラさせてしまうときはどのようなときなのか整理してみました。一番ダメなタイミングは、相手が何かに集中しているときです。集中して頑張っているときにちょっかひを出してしまうと、相手は「今頑張っているのに、なんで邪魔するの?」と感じてしまい、ケンカごしな受け答えになって、強くなり返そうとします。他にも相手がイライラしているときも気を付けなくてはなりません。相手はイライラしているので、少しでも嫌なことをされてしまうと、いつもよりガマンできなくなり、すぐに怒ってしまいます。

このようなことから、相手が集中しているときや怒りっぽくなっているときはちょっかひを出さないようにしていくことで相手を怒らせることもなく、友達とより上手につき合っていくことができるのではないかと考えました。では、どのようにすれば相手の様子を判断できるのでしょうか。

それは、友達がいつもより暗かったり、口数が少なかったり、いつもは人とはしゃいでいるのに、あまり騒いでいなくなったりという特徴があるのではないかと思います。このような友達の「いつもと違う」という違和感を察することできるようになれば、その人にちょっかひを出さないでおこう。という気持ちだけでなく、「どうした?」など相手を気遣う事ができるのではないのでしょうか。そうすることで、友人との信頼関係を築くことができ、学校生活をより楽しく過ごすことができるのではないかと考えました。

僕はどんなときにちょっかひを出すかと相手を嫌な気持ちにさせてしまうのかということを知ることができました。また、相手の様子を知ることは、良いことが沢山あり、コミュニケーションを図る上でとても大切なことだと気付きました。社会に出て相手の事を考えたり、様子を知ることで、人のコミュニケーションに苦勞せずすむと思います。

このように人とのやり取りを上手くなるためにも適度なちょっかひも必要だと思います。

みなさんも、お互いのことを考えながらイライラしない、させない事に気をつけて友達との関係を深め、より楽しい中学生生活を過ごしていきましょう。

(振り返り 大城 昊己)

友達の関係を考えるいい機会になりました。自分は早めにテーマが決まって文を考える時間が増えて書きやすかったので、1年生も頑張ってください。

## 三者面談

期末テストも終わり、15日~17日にかけて1学期の三者面談を実施しました。1学期の各教科の成績や学校での様子、それからこの1年間で学習する学習案内(シラバス)についても学級担任から説明してもらいました。また、夏休みに向けても今年は短い夏休みになりますが、充実した夏休みになるようその過ごし方についても三者で確認しました。特に1学期の成績については、自分なりに分析し、課題を夏休みで重点的に取り組めるよう頑張ってもらいたいと思います。



## 第6回基礎力テスト

16日(木)に第6回基礎力テストを実施しました。今回は、1年生が社会、2年生が国語、3年生が数学で、合格率は1年生が全員合格、2年生が合格率90%、3年生が合格率25%という結果でした。今回は1年生がよく頑張ったと思います。次回こそ、全員合格といきたいですね。

